

# 河内長野市埋蔵文化財調査報告書XXI

尾崎北遺跡

高向遺跡

向野遺跡

天野山金剛寺遺跡

三日市北遺跡

2005年3月

河内長野市教育委員会

河内長野市文化財調査報告書第41輯  
 河内長野埋蔵文化財調査報告書XXI  
 尾崎北遺跡・高向遺跡・向野遺跡・天野山金剛寺遺跡・三日市北遺跡  
 正誤表

頁	行	誤	正
9	17	〔NV1〕(図版2)	〔NV1〕(第3図、図版2)
10	6	〔SP1〕(図版2)	〔SP1〕(第3図、図版2)
10	11	〔SP2〕(図版2)	〔SP1〕(第3図、図版2)
18	6	〔SD1〕(第13図、図版5・6)	〔SD1〕(第12・13図、図版5・6)

## 序 文

大阪府の南東部に位置する河内長野市は、豊かな自然に恵まれ、高野街道に代表される、和歌山や奈良へ向う街道の要衝として発展してきた街です。このため市内には数多くの文化財が残されています。

このような河内長野市も大阪市内への通勤圏に位置しているため住宅都市として発展してきました。この開発がもたらした文化財や自然に対する影響は大きいものがあります。特に、地下に眠る埋蔵文化財は開発と直接に結びつく大きな問題です。

遺跡に託されている河内長野の先人達のメッセージである文化遺産を保護・保存し、更には未来の市民へ伝えていく事は、現代に生きる私達の責務であります。河内長野市においては、重要な課題である開発と文化財保護との調和のため、開発に先立ち埋蔵文化財の発掘調査を実施し、その把握に努めています。

本書は発掘調査の成果を収録しています。皆様が先人達のメッセージの一部でもある文化財に対するご理解を深めていただくとともに、文化財の保護・保存・研究のための資料として活用していただければ幸いです。

これらの発掘調査に協力していただきました施主の方々の埋蔵文化財への深いご理解に末尾ながら謝意を表すものです。

平成17年3月

河内長野市教育委員会  
教育長 福田弘行

## 例　　言

1. 本書は平成15・16年度（平成16年1月～12月）に河内長野市教育委員会が国庫補助事業として計画・実施した遺跡の発掘調査及び遺物整理報告書である。
2. 調査は本市教育委員会教育部社会教育課参事兼課長補佐尾谷雅彦を主担当し、同課文化財保護係鳥羽正剛を担当者として実施した。
3. 調査及び本書の執筆は鳥羽が行なった。編集は河内長野市立ふれあい考古館館長中西和子がこれを補佐した。
4. 写真撮影は遺構については鳥羽、遺物については中西が行なった。
5. 発掘調査及び内業整理については以下の参加を得た。（敬称略）  
大塚美幸、大西京子、喜多順子、小沢加奈子、斎田菜穂子、杉本祐子、折木裕子、牟田口京子、安間克巳
6. 発掘調査については下記の方々の協力を得た。記して感謝する。（敬称略、順不同）  
株式会社島田組、綾塔大作、村井一裕、東忠雄、前田克彦、奥山實
7. 本調査の記録は、スライドフィルムなどでも保管されており、広く一般の方々に利用されることを希望するものである。

## 凡　　例

1. 本報告書に掲載されている標高はTPを基準としている。
2. 土色は、「新版標準土色帖」1990年度版による。
3. 平面測量は国家座標第VI系による5mメッシュを基準に実施したものである。
4. 図中の北は磁北である。
5. 遺構実測図の縮尺は、1/60・1/80・1/120・1/150である。
6. 遺構名は下記の略記号を用いた。  
SD…溝　SP…遺物出土ビット　SW…石組造構　NV…自然地形
7. 遺物実測図の縮尺は土器1/4である。
8. 弥生土器・土師器の断面は白抜き、須恵器・瓦器の断面は黒塗りである。
9. 遺物番号と写真図版の番号は一致する。

# 目 次

序 文

例 言

凡 例

日 次

挿図目次

表 目 次

図 版 目 次

第1章 調査の状況 .....	1
第2章 調査の結果 .....	7
第1節 尾崎北遺跡 (O S N03- 1) .....	7
1 概略 .....	7
2 調査の方法と基本層序 .....	7
3 遺構と遺物 .....	8
4 まとめ .....	10
第2節 高向遺跡 (T K O03- 3) .....	11
1 概略 .....	11
2 調査の方法と層序 .....	11
3 遺構と遺物 .....	12
4 まとめ .....	12
第3節 向野遺跡 (M K N04- 3) .....	13
1 概略 .....	13
2 調査の方法と層序 .....	14
3 遺構と遺物 .....	14
4 まとめ .....	14
第4節 天野山金剛寺遺跡 (K G T04- 1) .....	15
1 概略 .....	15
2 調査の方法と層序 .....	15
3 遺構と遺物 .....	16
4 まとめ .....	16
第5節 一ノ日市北遺跡 (M I N04- 9) .....	17
1 概略 .....	17
2 調査の方法と層序 .....	17
3 遺構と遺物 .....	18
4 まとめ .....	19

## 挿図目次

第1図 河内長野市遺跡分布図 (1/40000) .....	4
尾崎北遺跡 (O S N03-1)	
第2図 調査区位置図 (1/2500) .....	7
第3図 遺構配置図 (1/80) .....	8
第4図 出土遺物実測図 .....	9
高向遺跡 (T K O03-3)	
第5図 調査区位置図 (1/2500) .....	11
第6図 調査区平面図及び土層断面図 (1/60) .....	12
向野遺跡 (M K N04-3)	
第7図 調査区位置図 (1/2500) .....	13
第8図 遺構配置図 (1/120) .....	14
天野山金剛寺遺跡 (K G T04-1)	
第9図 調査区位置図 (1/2500) .....	15
第10図 遺構配置図及び土層断面図・S W 1 立面図 (1/60) .....	16
三日市北遺跡 (M I N04-9)	
第11図 調査区位置図 (1/2500) .....	17
第12図 遺構配置図 (1/150) .....	18
第13図 出土遺物実測図 .....	18

## 表目次

第1表 発掘届出件数月別一覧表 .....	1
第2表 主な発掘・立会調査一覧表 .....	1
第3表 河内長野市遺跡地名表 .....	5

## 図版目次

図版1 尾崎北遺跡 (O S N03-1) 第1～3調査区全景 (南東から)、第1調査区全景 (南東から)	
図版2 尾崎北遺跡 (O S N03-1) 第2調査区作業風景 (南から)、第3調査区 (北東から)	
図版3 高向遺跡 (T K O03-3) 調査区全景 (北東から)、向野遺跡 (M K N04-3) 調査区全景 (西から)	
図版4 天野山金剛寺遺跡 (K G T04-1) 調査区全景 (南東から)、S W 1 (南東から)	
図版5 三日市北遺跡 (M I N04-9) 調査区全景 (北から)、S D 1 上面 (西から)	
図版6 遺物 尾崎北遺跡 (O S N03-1) S D 1 (1～3)、S D 3 (4～6)、包含層 (7～9)	
三日市北遺跡 (M I N04-9) S D 1 (15)、包含層 (10～14・16・17)	

## 第1章 調査の状況

平成16年の文化財保護法57条の2および3の発掘届及び発掘通知の件数は、総数139件、そのうち発掘届116件、発掘通知20件である。今年は新規発見届及び通知はなかった。

今年の発掘届にみられる原因者の状況は、駅前整備事業やふるさと施設など大規模公共事業と共に個人住宅の新築及び改築なども多くあった。

第1表 発掘届件数月別一覧表

(平成16年1月～12月)

	平成15年度			平成16年度									総数
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
発掘届 (57条2)	5	5	32	9	2	8	8	9	13	8	11	9	119
発掘通知 (57条3)	3	3	0	1	1	0	0	1	0	0	1	10	20
発見届 (57条5)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発見通知 (57条6)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第2表 主な発掘・立会調査一覧表

(平成16年1月～12月)

調査名	調査開始日	申請者	申請面積(m <sup>2</sup> )	用途	種別	区分	備考
塙谷遺跡 SIO03-4	2004.1.5 ～3.5	河内長野市	652.49	道路	発掘	原因者 弥生時代の石器・中世 の瓦質土器	
三日市北遺跡 MIN03-4	2004.1.8	河内長野市	500	道路	立会	一	遺構・遺物なし
尾崎北遺跡 OSN03-1	2004.1.13 ～19	個人	223.83	専用住宅	発掘	国庫	本書掲載
鴨尻遺跡 TKZ03-1	2004.1.20 ～6.15	河内長野市	3000.00	施設	発掘	原因者 古墳時代の土坑、近世の 土坑・古墳時代の須恵器・ 土師器、近世の陶磁器	
ジョウノマエ遺跡 JNM03-2	2004.1.26	個人	450.15	共同住宅	発掘	原因者	中世の土師質土器
鳥糰子形城跡 EBS03-6	2004.1.26	(株)成旭	44822.05	宅地造成	発掘	原因者	遺構・遺物なし
柴町東遺跡 SKE03-2	2004.1.30	個人	114.44	専用住宅	立会	一	遺構・遺物なし
高向遺跡 TK003-3	2004.1.30 ～2.2	個人	280.44	専用住宅	発掘	国庫	本書掲載
鳥糰子形城跡 EBS03-7	2004.2.5	河内長野市	10502.00	道路	立会	一	遺構・遺物なし
塙谷遺跡	2004.2.9	個人	251.17	専用住宅	発掘	原因者	遺構・遺物なし
鳥糰子形城跡 EBS03-8	2004.2.18	個人	106.63	専用住宅	立会	一	遺構・遺物なし
上原東遺跡 UHE03-2	2004.2.19	個人	418.62	共同住宅	発掘	原因者	遺構・遺物なし
上原北遺跡 UHN03-2	2004.2.23	個人	62.57	専用住宅	立会	一	遺構・遺物なし
西高野街道	2004.2.27	河内長野市	約5.00	看板	立会	一	遺構・遺物なし
觀心寺遺跡	2004.2.27	河内長野市	約5.00	看板	立会	一	遺構・遺物なし
鳥糰子形城跡	2004.2.27	河内長野市	約5.00	看板	立会	一	遺構・遺物なし
觀心寺遺跡 KST03-2	2004.3.6	個人	127.46	車庫	立会	一	遺構・遺物なし

遺跡名	調査開始日	申請者	申請面積(㎡)	用途	種別	区分	備考
勝所藩代官所跡 ZZH03-2	2004.3.15	個人	77.04	専用住宅	発掘	原因者	造構・遺物なし
高尚神社遺跡 TKG03-1	2004.3.18	個人	239.34	専用住宅	発掘	原因者	造構・遺物なし
塙谷遺跡 SIO04-1	2004.4.3	(株)テクノ住宅販売	101.46	分譲住宅	発掘	原因者	造構・遺物なし
三日市宿跡・ 三日市北遺跡 MIN04-1	2004.4.5 ~6.7	河内長野市	16000.00	再開発事業	発掘	原因者	弥生時代の堅穴住居、ピット、近世の溝、土坑/弥生土器、陶磁器
觀心寺遺跡 KST03-3-04-1	2004.4.5	(宗)觀心寺	1000	持仏堂建替	立会	一	瓦・土師質土器・瓦器・陶磁器
河合寺城跡 KWJ04-1	2004.4.6	(学)清教大学	57801.00	体育施設 ・駐車場	立会	一	造構・遺物なし
上原中遺跡 UHM04-1	2004.4.16	個人	171.37	店舗	発掘	原因者	中世の土師質土器
西代蒲障屋跡 NDH04-1	2004.4.20	ホームクリエイティブ	約10	専用住宅	発掘	国庫	造構・遺物なし
向野遺跡 MKN04-1	2004.4.28	個人	約10	専用住宅	発掘	国庫	造構・遺物なし
三日市北遺跡 MIN04-2	2004.5.6	個人	467.83	駐車場	発掘	原因者	弥生時代のピット/弥生土器片
三日市遺跡 MIC04-1	2004.5.7	個人	242.63	専用住宅	立会	一	造構・遺物なし
鳥帽子形跡 EBS04-1	2004.5.7	個人	91.95	専用住宅	立会	一	造構・遺物なし
三日市宿跡・ 三日市北遺跡 MIN04-3	2004.5.18 ~6.7	河内長野市	18000.00	再開発事業	発掘	原因者	弥生土器・陶磁器
塙谷遺跡 SIO04-2	2004.6.15	大阪南医療センター	11033.36	宿舎	立会	-	造構・遺物なし
向野遺跡・ 東高野街道 MKN04-2	2004.6.18	個人	825.10	共同住宅	発掘	原因者	中・近世の土師質土器
三日市北遺跡 MIN04-6	2004.6.23	河内長野市	500	駐輪場	立会	一	造構・遺物なし
喜多町遺跡 KTC04-1	2004.6.28	(宗)金光教三日市教会	731.59	専用住宅	発掘	原因者	造構・遺物なし
古野町遺跡・ 西高野街道 HRC04-1	2004.7.9	(医)生登会寺元記念病院	110.00	病院増築	立会	一	造構・遺物なし
西代蒲障屋跡 NDH04-2	2004.7.12	個人	165.9	専用住宅	立会	一	造構・遺物なし
三日市宿跡・ 三日市北遺跡 MIN04-4	2004.7.16 ~8.31	河内長野市	18000.00	再開発事業	発掘	原因者	古墳時代の廉、中世の落ち込み/古墳時代の須恵器、土師器、中世の瓦質土器、瓦器
三日市遺跡 MIC04-2	2004.7.30	個人	164.16	専用住宅	立会	一	造構・遺物なし
三日市遺跡 MIC04-3	2004.8.2	個人	94.41	専用住宅	立会	一	造構・遺物なし
長池窯跡群 NIK04-1	2004.8.2	個人	421.35	専用住宅	立会	一	造構・遺物なし
柴町南遺跡 SKS04-1	2004.8.17	個人	123.15	専用住宅	発掘	原因者	造構・遺物なし
三日市宿跡・ 三日市北遺跡 MIN04-5	2004.8.18 ~9.30	河内長野市	16000.00	再開発事業	発掘	原因者	弥生時代の堅穴住居、ピット、土坑、近世の溝/弥生土器、陶磁器
向野遺跡・ 東高野街道 MKN04-3	2004.8.25 ~8.31	個人	825.10	共同住宅	発掘	国庫	本書掲載

遺跡名	調査開始日	申請者	申請面積(㎡)	用途	種別	区分	備考
高野街道 KYR04-1	2004.8.27 ~8.31	個人	1047.93	分譲住宅	発掘	国庫	遺構・遺物なし
向野遺跡 MKN04-2	2004.9.3	個人	105.54	専用住宅	発掘	国庫	遺構・遺物なし
天野山金剛寺 遺跡 KGT04-1	2004.9.9 ~9.14	個人	380.75	専用住宅	発掘	国庫	本善掲載
駒所藩代官所跡 NTK04-2	2004.9.10~ 9.13	(社福)長野社会福 祉事業財団	943.72	保育園	発掘	原因者	遺構・遺物なし
長池窯跡群 MIN04-3	2004.9.16	個人	648.96	専用住宅	立会	一	遺構・遺物なし
三日市宿跡・ 三日市北遺跡 MIN04-8	2004.9.29 ~11.30	河内長野市	16000.00	再開発事業	発掘	原因者	弥生時代の堅穴住居、 ピット、土坑、近世の 溝、先史土器、陶磁器
西代高砂塚跡 HRC04-2	2004.10.12	個人	134.36	専用住宅	発掘	原因者	遺構・遺物なし
三日市北遺跡 EBS04-2	2004.10.27	河内長野ガス(株)	40.00	ガス	立会	一	遺構・遺物なし
鳥帽子形城跡 EBS04-2	2004.10.27	個人	119.43	専用住宅	立会	一	遺構・遺物なし
天神社遺跡 TNG04-1	2004.11.2	(宗)天神社	200	建替	立会	一	寛永通宝
古野町宿跡・ 西高野街道 HRC04-2	2004.12.3	(西)生登会	—	看板	立会	一	遺構・遺物なし
三日市北遺跡 MIN04-9	2004.12.6 ~12.24	個人	957.54	店舗	発掘	国庫	本善掲載
光道寺遺跡 KTT04-1	2004.12.13	(宗)光道寺	200	建替	立会	一	土師質土器類
市町末遺跡 ICE04-1	2004.12.17	個人	190.65	専用住宅	発掘	原因者	遺構・遺物なし
三日市宿跡・ 三日市北遺跡 MIN04-10	2004.12.22	河内長野市	60.57	下水道	立会	一	遺構・遺物なし
三日市宿跡・ 三日市北遺跡 MIN04-11	2004.12.22	河内長野市	231.73	下水道	立会	一	遺構・遺物なし
喜多町遺跡 KTC04-2	2004.12.22	河内長野市	355.14	下水道	立会	一	遺構・遺物なし
喜多町遺跡 KTC04-3	2004.12.22	河内長野市	226.17	下水道	立会	一	遺構・遺物なし
喜多町遺跡 KTC04-4	2004.12.22	河内長野市	298.35	下水道	立会	一	遺構・遺物なし
鳥帽子形城跡 EBS04-3	2004.12.22	河内長野市	482.58	下水道	立会	一	遺構・遺物なし
鳥帽子形城跡 EBS04-4	2004.12.22	河内長野市	502.56	下水道	立会	一	遺構・遺物なし
鳥帽子形城跡・ 喜多町遺跡・ 高野街道 EBS04-5	2004.12.22	河内長野市	377.44	下水道	立会	一	遺構・遺物なし
上田宿跡 UDS04-1	2004.12.22	河内長野市	515.54	下水道	立会	一	遺構・遺物なし
尾崎北遺跡 OSN04-1	2004.12.24	加賀東北自治会	73.98	集会所	発掘	原因者	遺構・遺物なし



第1図 河内長野市道路分布図 (1/40000)

番号	文化財名称	種類	時代	番号	文化財名称	種類	時代
1	兵庫神社遺跡	社寺	寧寧以降	(71)	萬城第19經塚	經塚	平安以降
2	河合寺遺跡	社寺	平安以降	(75)	貧尼塚	墓葬	中世
3	觀心寺遺跡	社寺	平安以降	(76)	大沢	墓葬	中世
4	大原山古墳	古墳	(南期)	(77)	三因山經塚	經塚	平安以降
5	大師山南古墳	古墳?	(後期)	(78)	光德寺遺跡	寺寺	中世以降
6	大原山遺跡	施設・生産	弥生(後期)・平安	(79)	墳	城跡	中世
7	大原寺遺跡	社寺	中世以降	80	蟹井瀧神社遺跡	寺寺	中世以降
8	鳥劍子形八幡神社遺跡	社寺	寧寧以降	(81)	川上神社遺跡	社寺	中世以降
9	塚穴古墳	古墳	古墳(後期)・逝世	82	千代田神社遺跡	社寺	中世以降
10	長池塚跡群	生産	平安～近世	83	鴨野遺跡	集落・生産	編文・平安～近世
11	小山田1号古墓	墳墓	奈良	84	古野町遺跡	散布地	中世
12	小山田2号古墓	墳墓	奈良	85	上原北遺跡	集落	中世
13	延命寺遺跡	社寺	平安以降	86	大寺寺遺跡	社寺・古墳・礎石	弥生～近世
14	大野山金剛寺遺跡	社寺・頃墓	平安以降	87	高向南遺跡	散布地	鎌倉
15	日野觀音寺遺跡	社寺・生産	編文・平安～近世	88	小庵遺跡	集落	編文～奈良
16	地藏寺遺跡	社寺	中世以降	89	加賀遺跡	集落	古墳(後期)
(17)	岩瀬寺遺跡	社寺	平安以降	90	尾崎遺跡	集落	古墳～中世
18	瓦ノ木古墳	古墳	古墳(後期)	91	ジョウノマエ遺跡	城跡?	中世
19	高向遺跡	跡	旧石器～中世	92	仁王山城跡	城跡	中世
20	鳥糰子形城跡	城跡・生産	中世～近世	93	タコラ城跡	城跡	中世
21	多賀町遺跡	施設	編文・古墳～中世	94	立城跡	城跡	中世
22	鳥糰子形古墳	古墳	古墳(後期)	95	上原近世瓦窯	生產	近世
23	末広窓跡	生産	中世	96	市町東北遺跡	散布地	弥生・中世
24	塙谷遺跡	散布地	編文～近世	97	上山町窓跡	生產	近世
25	流谷八幡神社	社寺	平安以降	98	尾崎北遺跡	集落	古墳～中世
26	鷺井洞南遺跡	散布地	中世	99	西の山町窓跡	散布地	中世
27	蟹井洞北遺跡	散布地	中世	100	野間里遺跡	集落	平安
28	大見駅北方遺跡	散布地	中世	101	鳴尾遺跡	散布地	中世
29	千早口駅南遺跡	社寺	中世	102	上田町遺跡	散布地	古墳・中世
30	岩瀬美海寺遺跡	社寺	中世以降	103	上原中道遺跡	散布地	古墳・中世
31	清木遺跡	散布地	中世	104	小野塚窓跡	墳墓	中世
32	伝「神真廟」古墳	古墳	古墳(後期)	(105)	鶴城第17經塚	經塚	平安以降
(33)	宝村地藏跡	社寺	近世	106	栗原堂跡	社寺	中世以降
(34)	鴨姫碑	墓葬	近世	107	男作遺跡	跡	中世
(35)	中村阿弥陀堂跡	社寺	近世	108	寺元遺跡	集落・社寺	編文・奈良・中世
(36)	東の村観音堂跡	社寺	近世	(109)	鳩原鹿農跡	散布地	中世
(37)	西の村観音堂跡	社寺	近世	110	法師塚古墳跡	古墳	古墳
38	清水阿弥陀堂跡	社寺	近世	111	山上講山古墳跡	古墳	古墳
39	鴨尻跡動空跡	社寺	近世	112	西之浦遺跡	集落	古墳・中世・近世
(40)	宮の下内島塚跡	古墳	古墳	113	地福寺跡	跡	近世
41	宮山古墳	古墳	古墳	114	百の下遺跡	集落	平安～中世
42	青山古墳	古墳	古墳	115	宋町遺跡	散布地	弥生・古墳・中世
43	西作津岸塚跡	散布地・施設	鐵馬～紫良・江戸	116	鶴町遺跡	散布地	中世
44	上原町墓地	墓地	近世	(117)	太井遺跡	散布地	編文・中世
45	慈持寺跡	跡	散布地・社寺	118	鶴町北遺跡	集落	弥生・中世・近世
46	栗山塚跡	跡	中世～近世	119	市町西遺跡	集落	編文・中世
47	寺ヶ池遺跡	散布地	編文	120	柴町南遺跡	集落	中世
48	上原塚跡	散布地	旧石器～近世	121	柴町東遺跡	散布地	弥生・中世
49	住吉神社遺跡	社寺	近世以降	122	梅町東遺跡	散布地	弥生
50	高岡神社遺跡	社寺	中世以降	123	沙の宮町南遺跡	散布地	弥生・奈良
51	青が原神社遺跡	社寺	中世以降	124	沙の宮町遺跡	散布地	中世
52	舎所瀬所跡	城跡	鐵馬	125	砂方丘近世墓	墳墓	近世
53	双子塚古墳	古墳	古墳	126	増福寺	寺寺	中世以降
54	斐々尾遺跡	施設・社寺	編文～近世	127	二味町遺跡	墳墓・城跡	中世・近世
55	両合寺城跡	城跡	中世	128	松林寺遺跡	寺寺	近世以降
56	三日市遺跡	施設	古墳	129	采町遺跡	散布地	中世
57	日の谷城跡	城跡	中世	*130	東高野街道	街道	平安以降
58	森木遺跡	散布地	編文	*131	西高野街遺跡	街道	平安以降
59	沙の山城跡	城跡	中世	*132	高野街遺跡	街道	平安以降
60	峰山城跡	城跡	中世	133	上原東遺跡	散布地	弥生・中世・近世
61	船岡山城跡	城跡	中世	134	地藏寺東方遺跡	散布地・墳墓	弥生・奈良
62	因見城跡	城跡	中世	135	本多町北遺跡	散布地	中世
63	廣瀬城跡	城跡	中世	136	下町北遺跡	散布地	古墳・中世
64	椎現城跡	城跡	中世	137	あかしあ台遺跡	散布地	近世
(65)	天博社遺跡	社寺	中世以降	138	岩瀬北遺跡	集落	中世
(66)	萬城第15經塚	經塚	平安以降	139	芦漸近世墓地	墳墓	近世
67	加賀質山神社遺跡	社寺	中世以降	140	昭栄町東窓跡	散布地・施設	編文・中世・近世
68	庚申堂遺跡	社寺	近世以降	141	三日市北遺跡	集落	編文・弥生・中世
69	石仏城跡	城跡	中世	142	三日市宿跡	宿館に伴う街並	中世～近世
70	佐近城跡	城跡	中世	143	上田町宿跡	宿館に伴う街並	中世～近世
71	旗尾城跡	城跡	中世	144	鴨尾遺跡	散布地	編文・古代・中世
72	葛城第16經塚	經塚	平安以降	145	市町北遺跡	散布地	小世
(73)	葛城第18經塚	經塚	平安以降				

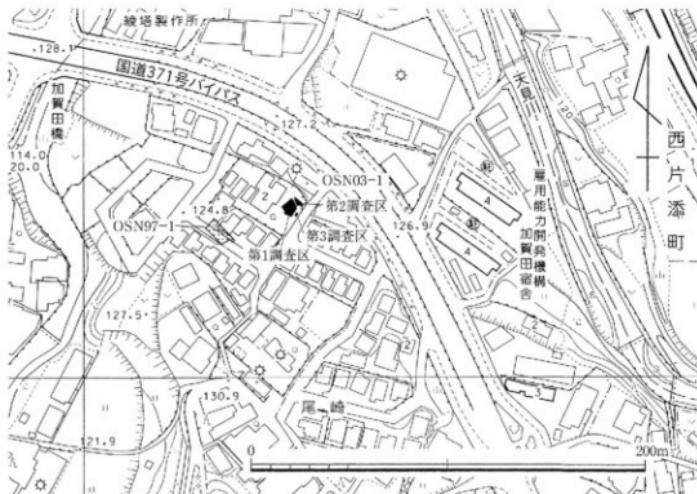
( ) は地図範囲外 \* は街道につき地図上にプロットせず

第3表 河内長野市遺跡地名表



## 第2章 調査の結果

### 第1節 尾崎北遺跡(OSN03-1)



第2図 調査区位置図 (1/2500)

#### 1 概略

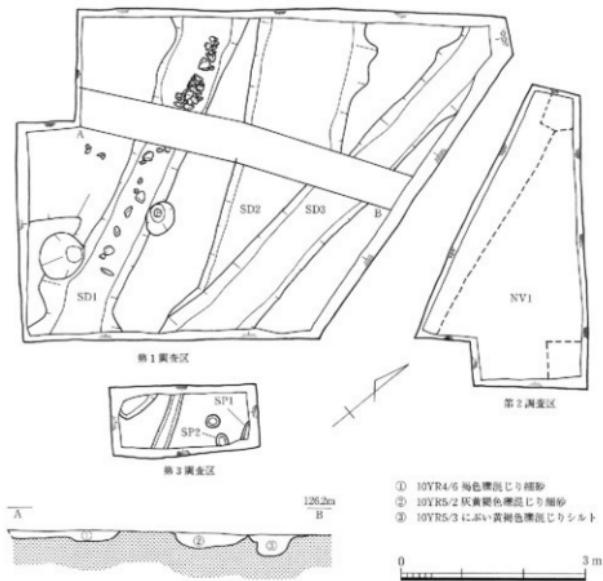
遺跡は、天見川左岸の低位段丘上、標高125.7mに位置し、既往調査(OSN97-1)では古墳時代後期の竪穴住居や土坑が検出されている<sup>(注1)</sup>。

本次調査は個人住宅の建築に先立ち実施した。調査区は建物の基礎工事の切土で影響を受ける範囲について設定した。

#### 2 調査の方法と層序

調査区は3か所設定した。第1調査区は34.3m<sup>2</sup>、第2調査区は2.9m<sup>2</sup>、第3調査区は10m<sup>2</sup>で、調査面積の合計47.2m<sup>2</sup>である。

調査の方法は、遺構面直上までバックフォーによる機械掘削を行い、その後作業員による人力掘削、精査、遺構検出、遺構掘削作業を行った。調査区の平面実測、断面実測、写真記録は、外業調査員及び外業調査補助員が行った。調査終了後はバックフォーによる埋戻作業を行った。



第3図 遺構配置図 (1/80)

調査区の基本層序は、第1調査区から第3調査区まで共通で、耕土（層厚0.1m）、旧耕土（同0.15m）、床土（同0.05m）、10YR5/4にぶい黄褐色疊混じり細砂（包含層、同0.15m）、地山は10YR6/3にぶい黄橙色疊混じり細砂であった。

### 3 遺構と遺物

遺構は溝、土坑、ピット、落ち込みを検出した。

遺物は縄文土器、土師器、須恵器が出土した。

#### ・第1調査区

##### (1) 溝

###### [SD1] (第4図、図版1・6)

SD1は調査区の南西側に位置する。溝の両端は調査区外に延びるため詳細は不明である。主軸方向はN-28°-Wである。遺構の内部にはこぶし大から人頭大の石が集石していた。遺構の規模は、検出長5.6m、北側の幅1.2m、南側の幅1.55m、北側の深さ0.1m、南側の深さ0.24mである。埋土は10YR4/6褐色疊混じり細砂であった。

遺物は土師器甕（1）、須恵器壺蓋（2）・甕・高环坏部（3）、瓦質土器甕が出土した。

## [SD 2]

SD 2は調査区の中央部、SD 1の北東側に位置する。北西端は調査区外に及び、南東端はSD 3に切られている。主軸方向はN-40°-Wである。遺構の規模は、検出長4.4m、幅2m、北西側の深さ0.17m、南東側の深さ0.21mである。埋土は10YR5/2灰黄褐色疊混じり細砂であった。

遺物は出土しなかった

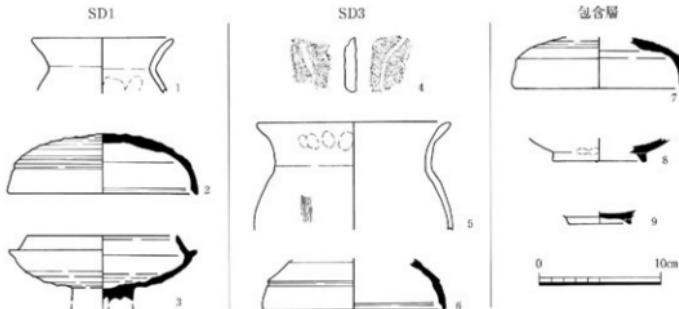
## [SD 3] (第4図、図版1・6)

SD 3は調査区の北東側に位置する。南北両端は調査区外に延びるため詳細は不明である。遺構の規模は、検出長7m、北側の幅0.8m、南側の幅1m、北側の深さ0.28m、南側の深さ0.35m、主軸方向はN-9°-Wである。埋土は10YR5/3にぶい黄褐色疊混じりシルトであった。

遺物は縄文土器(4)、土師器壺(5)、須恵器蓋坏(6)・壺、瓦器が出土した。

## (2) 包含層 (第4図、図版6)

包含層から土師器壺、須恵器坏蓋(7)・坏身・壺・高坏・罐・台付壺脚部、瓦器碗(8・9)、土師質土釜、東播系須恵質鍊鉢が出土した。



第4図 出土遺物実測図

## ・第2調査区

## (1) 自然地形

## [NV 1] (図版2)

NV 1は調査区全域に及び、落ち込みの周囲は調査区外に延びるため詳細は不明であるが、東側に向かって落ち込んでいるものと考えられる。遺構の規模は、南北長5m、東西長2.4m、深さ0.7mである。

遺物は出土しなかった。

## 尾崎北遺跡

### (2) 包含層

包含層から上師器壺、須恵器壺蓋・壺、土師質土釜が出土したが、細片のため実測できなかった。

### ・第3調査区

#### (1) 遺物出土ピット

##### [S P 1] (図版2)

S P 1は調査区の北東隅に位置する。遺構の大半が調査区外に及ぶため詳細は不明である。検出した遺構の規模は長軸0.34m、短軸0.1m、深さ0.85mを測る。埋土は10YR5/3にぶい黄褐色疊混じりシルトであった。

遺物は瓦器壺が出土したが、細片のため実測できなかった。

##### [S P 2] (図版2)

S P 2は調査区の南東端、S P 1の南側に位置する。南東側は調査区外に及ぶため詳細は不明である。遺構の規模は、残存長軸0.2m、短軸0.18m、深さ0.15mを測る。埋土は10YR3/4暗褐色疊混じりシルトであった。

遺物は須恵器が出土したが、細片のため図化できなかった。

## 4まとめ

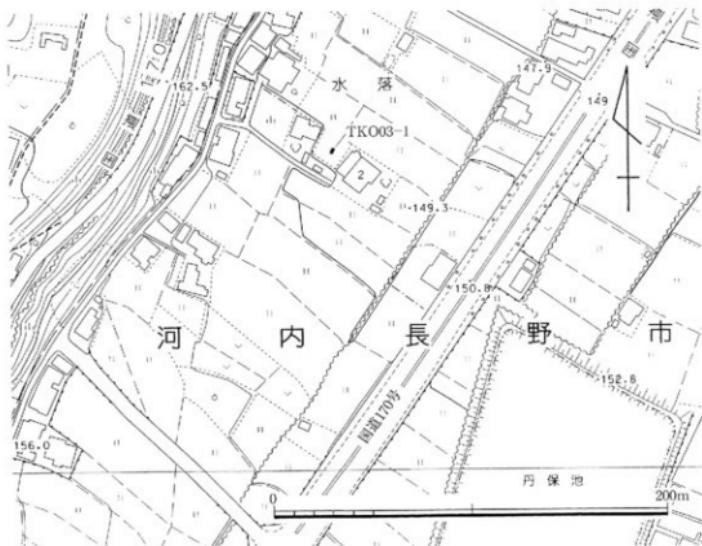
調査の結果、古墳時代後期の溝、土坑、ピットを検出した。本次調査地西側に近接するO S N97-1の調査地では、古墳時代後期の堅穴住居1棟、土坑などを検出しておらず、本次調査で検出した遺構は集落を構成する遺構であることが考えられる<sup>〔1〕</sup>。

調査区の範囲が狭小であるため詳細なことは不明であるが、遺構の密度が濃い地域であるため、今後も小規模な調査であっても注意が必要な遺跡であることが再確認できた。

(註1) 河内長野市文化財調査報告書第37輯 河内長野市埋蔵文化財調査報告書XIX

「尾崎北遺跡 清水遺跡 上田町宿跡 栄町遺跡」 2003年3月 河内長野市教育委員会

## 第2節 高向遺跡(TKO03-3)



第5図 調査区位置図 (1/2500)

### 1 概略

遺跡は、和泉山脈を水源とする石川左岸の中位河岸段丘上に位置する。当該遺跡の既往調査では旧石器時代から中世にかけての複合遺跡であることが判明している。特に、縄文時代はサスカイト製の石器や剝片を多量に出土したことから、石器生産地であると考えられている<sup>[31]</sup>。また奈良時代については掘立柱建物が多数検出され、古代豪族である高向氏の拠点の一つであると考えられている<sup>[32]</sup>。

本次調査は個人住宅建設に先立ち実施した。調査は建物の基礎工事の切土で影響を受けるかどうかを確認するため、確認調査坑として設定した。調査面積は約2.2m<sup>2</sup>である。

### 2 調査の方法と層序

調査区は約1.7m×約1.3mのトレチを1か所設定した。調査の方法は、作業員による人手掘削、精査、遺構検出、遺構掘削を行った。調査区の平面実測、断面実測、写真記録は外業調査員及び外業調査補助員がおこなった。調査終了後は作業員による埋戻作業を行った。

## 高向遺跡

調査区の基本層序は、表土（層厚0.55m）、耕土（同0.2m）、2.5Y6/3にぶい黄色疊混じり細砂（同0.14m）、2.5Y6/6明黄褐色疊混じり細砂（同0.18m）、2.5Y5/1黃灰色疊混じりシルト（同0.25m）で、地山は5Y6/4オリーブ黄色疊混じり細砂であつた。

### 3 遺構と遺物

遺構は検出しなかつたが、包含層から土師質皿、瓦器・塊の細片が出土した。

### 4まとめ

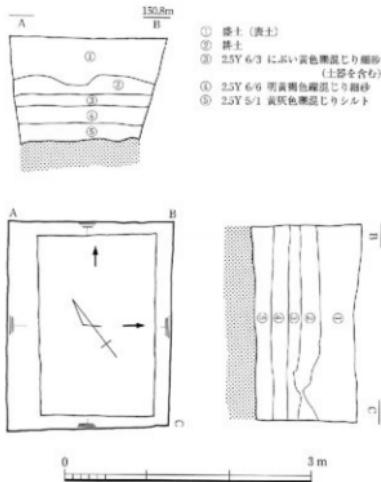
当該遺跡は既往調査では、概ね居

住域と耕作地域の二つの区域に分かれるものと考えられている。居住域は中位段丘上の遺跡の東側、耕作地域は遺跡の西側にあることが考えられている。本次調査区については遺跡の西側に位置し、調査面積が狭小ではあるものの、遺構が検出されなかつたことから、耕作地域に位置しているものと考えられる。

今後も周辺地域での調査例の増加が望まれる。

(註1)『(財)大阪府埋蔵文化財協会調査報告書第40輯 高向遺跡』 1989年 財团法人大阪府埋蔵文化財協会

(註2)『河内長野市遺跡調査会報 高向遺跡』 1996年3月 河内長野市遺跡調査会



第6図 調査区平面図及び土層断面図 (1/60)

## 第3節 向野遺跡・東高野街道(MKN04-3)



第7図 調査区位置図 (1/2500)

## 1 概略

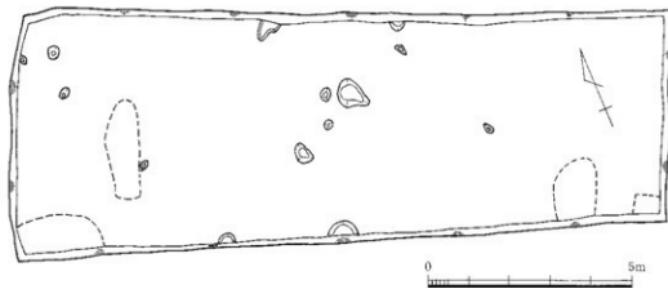
本次調査地は石川左岸の低位段丘上、標高98.7mに位置している。

向野遺跡は、縄文時代・鎌倉時代から江戸時代の複合遺跡である。特に、鎌倉時代には  
フイゴや鉄滓が出土しており、铸造にかかわった集落であることが判明している<sup>(31)</sup>。

また、向野遺跡の中央を南北方向に東高野街道が通っていて、本次調査地の西側は東高  
野街道と接している。東高野街道は京都に始まり、河内長野市域では本町の長野神社の  
北側で、堺大小路から延びる西高野街道と合流する。

高野街道は、さらに南下し、本市上田町に所在する上田宿跡、三日市町に所在する三日  
市宿跡の両宿駅、大阪府と和歌山県境の紀見峠を経て高野山へと向かっている。

本次調査は個人住宅の建築に先立ち実施し、建物の基礎工事の切土で影響を受ける範囲  
について調査区を設定した。調査面積は約107m<sup>2</sup>であった。



第8図 遺構配置図（1/120）

## 2 調査の方法と層序

調査区は約16.5m×約6.5mのトレーナーを1か所設定した。調査の方法は、遺構面直上までバックフォーによる機械掘削を行い、その後作業員による人力掘削、精査、遺構検出、遺構掘削作業を行った。調査区の平面実測、断面実測、写真記録は、外業調査員及び外業調査補助員がおこなった。

調査区の基本層序は、耕土（層厚0.15m）、7.5YR4/6褐色礫混じり細砂（同0.2m）で、地山は7.5YR4/3にぶい赤褐色礫混じり細砂であった。

## 3 遺構と遺物

遺構は土坑、ピットを検出した。

遺物は、検出した遺構の埋土に微細な土師質土器片が若干含まれていたが、脆弱なため取り上げはできなかった。

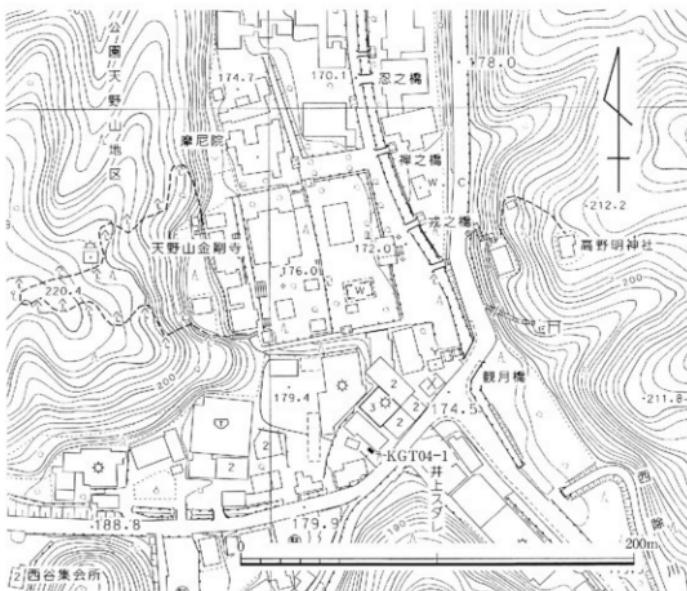
## 4まとめ

調査の結果、検出した土坑やピットは出土遺物が微小であるため、中世ないし近世のものとしか判断できないが、生活雑器などの人の住居に付随するような遺物が検出されていないことから、本次調査区付近は居住域ではなく耕作地域であったと考えられる。

今後も周辺地域での調査例の増加が期待される。

（註1）『河内長野市遺跡調査会報V 向野遺跡』 1993年3月 河内長野市遺跡調査会

## 第4節 天野山金剛寺遺跡(K G T04-1)



第9図 調査区位置図 (1/2500)

### 1 概略

天野山金剛寺遺跡は、和泉山脈から北方に派生する丘陵に挟まれた谷に位置し、谷には同山脈を水源とする天野川（西除川）が流れている。遺跡はその両岸に広がっている。

既往調査では平安時代後期から江戸時代に及ぶ多くの寺院遺構を検出している<sup>[注1]</sup>。

本次調査は個人住宅の建築に先立ち実施した。基礎工事の切土の影響があるかどうかを確認するため、確認調査坑を設定した。調査区は、天野川左岸、標高176.8mに位置し、調査面積は約9m<sup>2</sup>である。

### 2 調査の方法と層序

調査区は、約3.9m×約2.4mのトレンチを1か所設定した。調査の方法は、遺構面直上までバックフォーによる機械掘削を行い、その後作業員による人力掘削、精査、遺構検出、遺構掘削を行った。調査区の平面実測、断面実測、写真記録は外業調査員及び外業調査補助員がおこなった。調査終了後は作業員による埋戻作業を行った。

調査区の基本層序は、表土（層厚0.4m）、7.5YR5/8暗褐色疊混じり粗砂（焼土混じり・同0.5m）で、地山は10YR6/3にぶい黄橙色粗砂であった。

### 3 遺構と遺物

遺構は石組遺構を検出した。

遺物は出土しなかった。

#### (1) 石組遺構

【SW1】(第10図・図版4)

SW1は調査区の中央、北東側で検出された。石組の中央でかぎのてに折れ曲がる。南東端は途切れているが、北東側は調査区外に及ぶため詳細は不明である。遺構の規模は検出長1.5m、幅0.6m、高さ0.57mである。石組に用いられた石は、拳大から人頭大の川原石を用いていた。軸方向は、N-20°-E及び、N-45°-Wである。

遺物は出土しなかった。

### 4まとめ

調査の結果、火災により形成されたとみられる焼土を含む土層を検出した。このような土層、また焼土層は周辺の既往調査でもみられ、1360年（延文5・正平15）の兵火によるものと考えられている。

本次調査区は狭小なため詳細は不明であるが、このような焼土層の有無を確認することにより、当時被災した範囲の復元が可能となることから、今後の調査例の増加が期待される。

(註1)『河内長野市遺跡調査会報VI 金剛寺遺跡』 1993年3月 河内長野市遺跡調査会

『河内長野市遺跡調査会報XIII 天野山金剛寺遺跡』 1994年3月 河内長野市遺跡調査会

## 第5節 三日市北遺跡(MIN04-9)



第11図 調査区位置図 (1/2500)

### 1 概略

遺跡は、金剛山地を水源とする天見川と石見川が合流する地点の北側段丘上に位置する。2000年に南海電鉄高野線の三日市町駅前再開発事業に伴う試掘調査で新規発見され、事業地内では大規模な調査が行なわれている。

駅前市街化再開発に伴う既往調査では、堅穴住居31棟、環濠とみられる溝などを検出し、弥生時代中期後半の中規模集落が存在することがわかった<sup>(注1)</sup>。

本次調査は店舗建設に先立ち実施した。調査区は、基礎工事の切土で影響を受ける範囲について設定・実施したが、建物の基礎深度が遺構面に達せず、遺構を破壊しないため、GL-0.9mの水準で遺構検出のみを行った。調査面積は約76m<sup>2</sup>である。

### 2 調査の方法と層序

調査区は、約9.5m×約8mのトレンチを1か所設定した。調査の方法は、遺構面直上までバックフォーによる機械掘削を行い、その後作業員による人力掘削、精査、遺構検出を行った。調査区の平面実測、断面実測、写真記録は外業調査員及び外業調査補助員がおこない、調査終了後は作業員による埋戻作業を行った。

調査区の基本層序は、表土（層厚0.3m）、耕土（同0.15m）、床上（同0.1m）、2.5Y 6/2灰黄色礫混じり粗砂（同0.15m）、2.5Y7/4浅黄色礫混じり細砂（同0.05m）、旧耕土（同0.1m）で、地山は10YR6/6明黄褐色礫混じり細砂であった。

### 3 遺構と遺物

遺構は溝を検出した。

遺物は弥生土器、サスカイト剝片、須恵器、瓦器が出土した。

#### (1) 溝

[SD 1] (第13図・図版5・6)

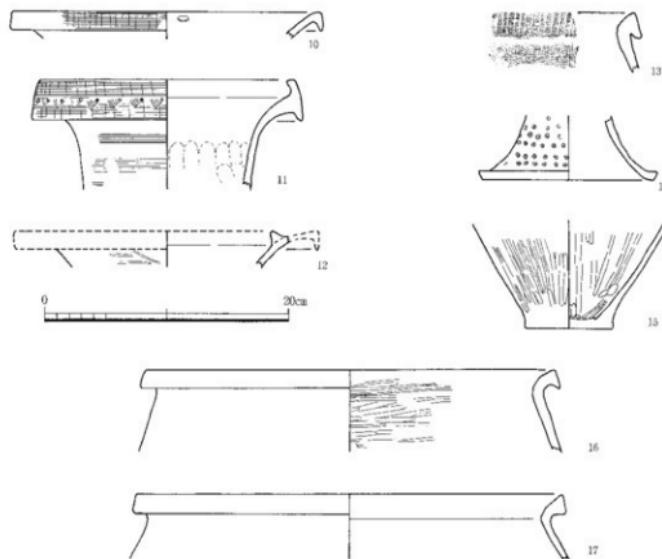
S D 1 は調査区北側で検出された。北端は調査区外に及ぶ。南端は搅乱されているため詳細は不明であるが、搅乱部分内で収束すると思われる。

・遺構の規模は、検出長さ3.7m、幅4m、深さ0.3mである。主軸方向はN-30°-Eである。

遺物は弥生土器の甕(15)が出土した。

#### (2) 包含層 (第13図・図版6)

包含層から生駒西麓産胎土の弥生土器の甕(16・17)・広口壺(10)・付加条口縁壺



第13図 出土遺物実測図

(11)・水平口縁高杯 (12)・大型鉢 (13)・台付鉢脚部 (14)、サヌカイト剝片、須恵器壺・壺、土師質土器、瓦器碗、青磁碗があった。実測できた弥生土器は(10)以外すべて生駒西麓産胎土で、弥生時代中期後半（畿内第Ⅲ～Ⅳ様式）のものと考えられる。実測できなかった弥生土器片では生駒西麓産の胎土のものが約4割をしめる。

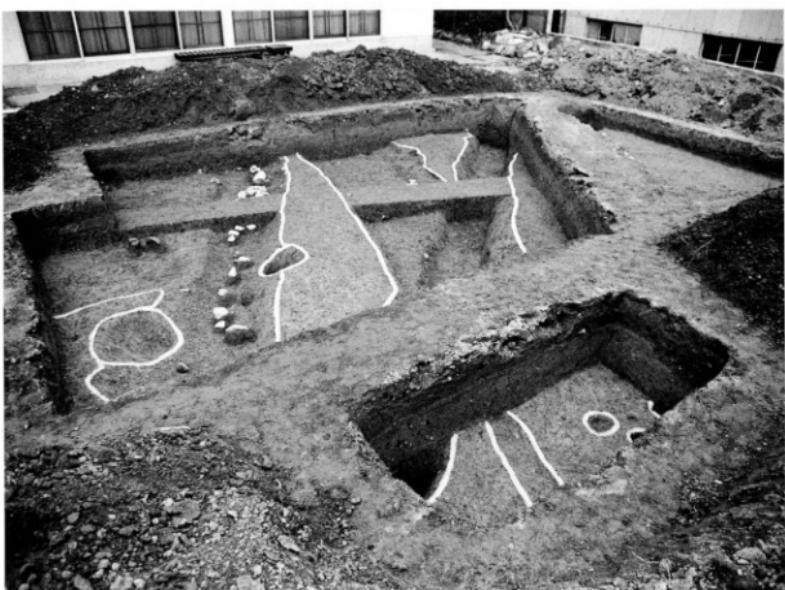
#### 4 まとめ

調査の結果、検出したSD1はその規模から既往調査でも確認している集落を取り囲む環濠の可能性がある。

（註1）太田宏明「三日市北遺跡の調査－弥生時代の遺構を中心として－」『大阪府埋蔵文化財研究会  
（第44回）資料』 2002年2月

# 図版

図版 1 尾崎北遺跡（O.S.N.03—1）



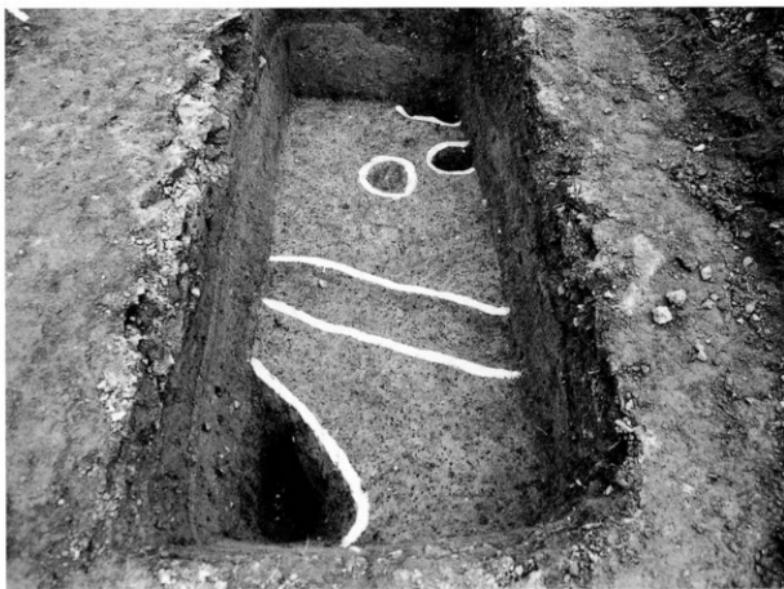
第1～3調査区全景（南東から）



第1調査区全景（南東から）



第2調査区作業風景（南から）



第3調査区（北東から）

図版 3 高向遺跡 (TKO 03-3)・向野遺跡 (MKN 04-3)



TKO 03-3 調査区全景 (北東から)



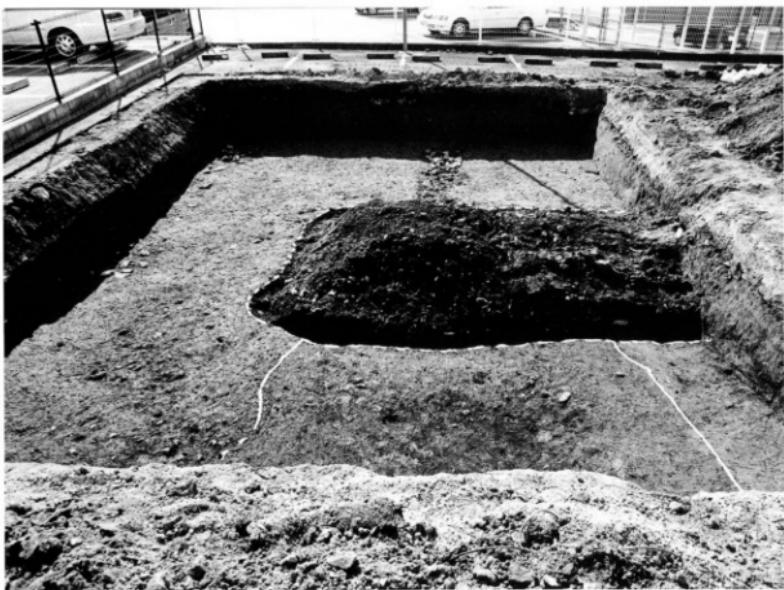
MKN 04-3 調査区全景 (西から)



調査区全景（南東から）



SW1（南東から）

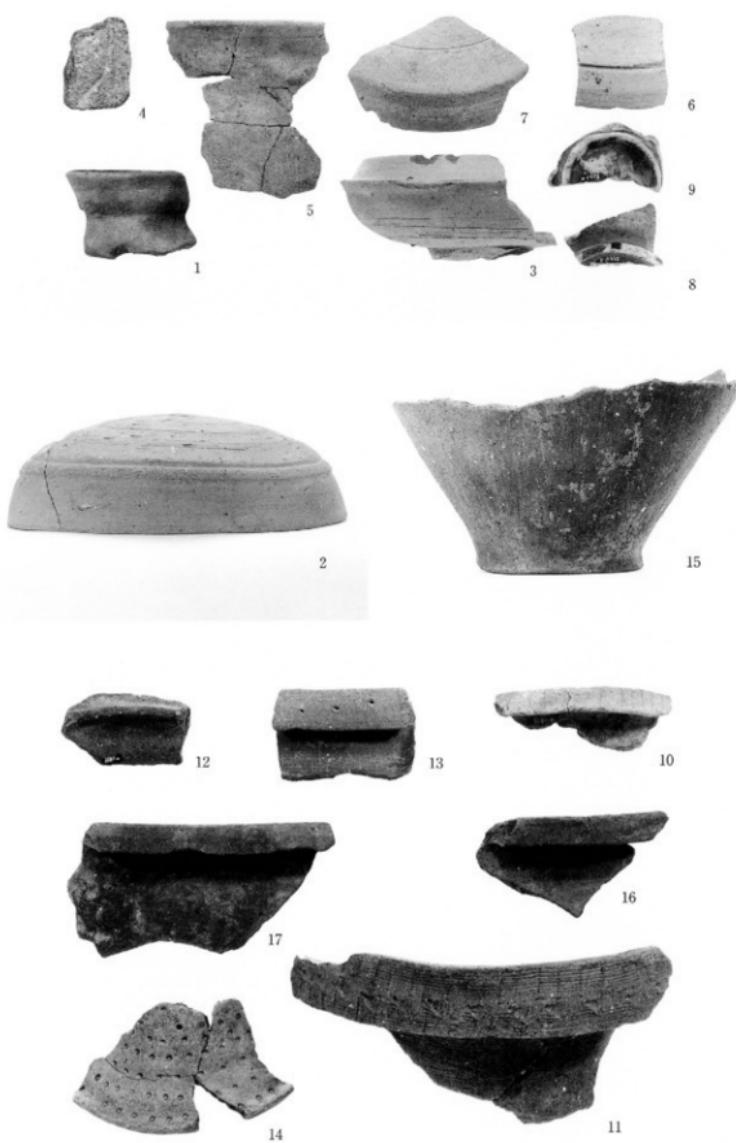


調査区全景（北から）



SD 1 上面（西から）

図版 6 遺物 尾崎北遺跡 (OSN 03-1)・三日市北遺跡 (MIN 04-9)



OSN 03-1 SD 1 (1~3)、SD 3 (4~6)、包含層 (7~9)  
MIN 04-9 SD 1 (15)、包含層 (10~14・16・17)

## 報告書抄録

ふりがな	かわちなかのしまいぞうぶんかざいちょうさほうこくしょ
書名	河内長野市埋蔵文化財調査報告書
副書名	尾崎北遺跡・高向遺跡・向野遺跡・天野山金剛寺遺跡・三日市北遺跡
卷次	XII
シリーズ名	河内長野市文化財調査報告書
シリーズ番号	第41輯
編著者名	鳥羽正剛
編集機関	河内長野市教育委員会
所在地	〒586-8501 大阪府河内長野市原町1丁目1番 TEL 0721-53-1111
発行年月	平成17年3月31日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡					
尾崎北遺跡 (OSN03-1)	大阪府河内長野市加賀田	27216	府127 河98	34°25'30"	135°34'20"	H16.1.13 H16.1.19	223.83m <sup>2</sup>	専用住宅
高向遺跡 (TKO03-3)	大阪府河内長野市高向	27216	府23 河19	34°26'10"	135°33'6"	H16.1.30 H16.2.2	280.44m <sup>2</sup>	専用住宅
向野遺跡 (MKN04-3)	大阪府河内長野市向野町	27216	府83 河112	34°27'13"	135°34'46"	H16.8.25 H16.8.31	825.10m <sup>2</sup>	共同住宅
天野山金剛寺遺跡 (KGT04-1)	大阪府河内長野市天野町	27216	府16 河14	34°25'28"	135°31'58"	H16.9.9 H16.9.14	380.75m <sup>2</sup>	専用住宅
三日市北遺跡 (MIN04-9)	大阪府河内長野市三日市町	27216	府171 河141	34°26'00"	135°34'18"	H16.12.6 H16.12.24	957.54m <sup>2</sup>	店舗

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
尾崎北遺跡	集落	古墳～中世	溝	須恵器	
高向遺跡	散布地	中世			
向野遺跡	散布地	中世			
天野山金剛寺遺跡	寺院	中世	石組遺構		
三日市北遺跡	集落	弥生時代	溝	弥生土器	

河内長野市文化財調査報告書第41輯  
河内長野市埋蔵文化財調査報告書XXXI  
尾崎北遺跡・高向遺跡・向野遺跡  
天野山金剛寺遺跡・三日市北遺跡

---

2005年3月31日発行

発 行 大阪府河内長野市原町396-3  
河内長野市教育委員会  
0721-53-1111  
印 刷 株中島弘文堂印刷所

---

